

2017年12月1日
第102号

発行：日本臨床検査技師連盟
発行責任者：楢山 広美
編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

連盟ニュース

今号の主な内容

支部便り

国民医療推進協議会へ参加

会費納入案内

支部だより



日本臨床検査技師会支部医学検査学会において連盟紹介コーナーを設置し入会促進の説明・相談を行っております。各支部からの報告を掲載します。

近畿支部ブロック活動

第57回日臨技近畿支部医学検査学会にて

学会を連盟の加入促進のいい機会ととらえ、近畿の各連盟支部が共同して取り組みました。

受付から展示や会場に向かうベストなロケーションに連盟ブースを構えさせてもらい、全県の協力で、加入者獲得にいどみました。宮島議員の活動動画をパソコンで上映する中、足早に行き来る参加者に声をかけながら、PRチラシを配布しました。よけて通り過ぎる人もありましたが、「もう入ってます。」と言ってくれる方には「ありがとうございます。来年もおねがいます」と声をかけ、チラシを受け取ってもらった人には、「どこからですか？」と声をかけ、その支部に勧誘をお任せしました。顔見知りを見つけたらすかさずかけより、加入を勧めました。大勢で取り組めたので、ブースしながら、学会もランチョンも展示も参加できました。



2日目朝一番の宮島会長の講演会に合わせて参加を呼びかけ、ホール出入り口で自民党新聞を配布しつつ加入受付をしました。が、ここでは加入



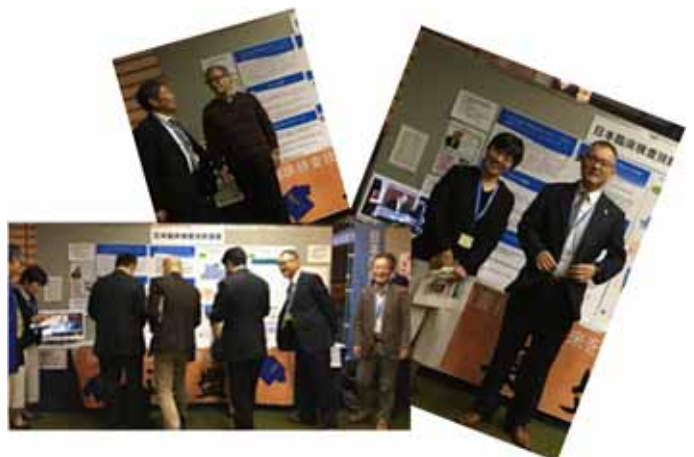
宮島会長講演

はほとんど得られず、気を取り直して、再び連盟ブースで呼びかけました。

二日間のがんばりで、各県とも数字をのぼすことができました。丁寧に説明すると加入者は増えることがわかりました。各県の数字を示すことは有効でした。このままではいけないという気持ちが伝わったのだと思います。しかし、無関心の方も多いのは事実で、入っているはずなのに、「入ってます」という方もありました。近畿7500人のうち現在300人なので、まだまだ手つかずです。

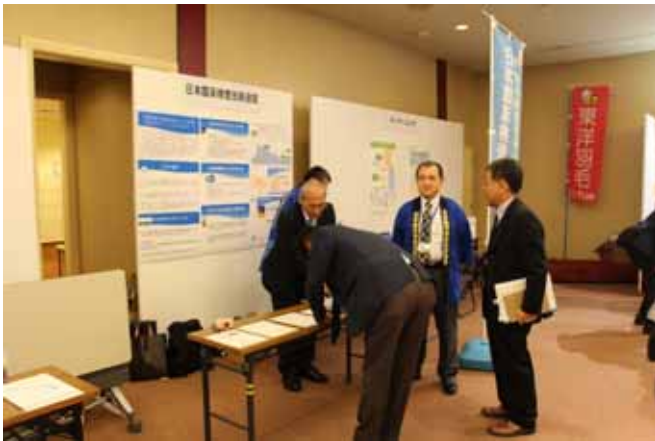
2日目、近畿ブロック会議をしました。今回は、支部長だけでなく複数の出席を呼びかけ、7府県で15名にお集まりいただきました。直前に、衆議院選挙があり推薦状や政策パンフレットの配布の協力があつたこともあって、日頃の組織力のなさや選挙初心者を痛感したところだったので、不満やら要望も出ました。また、呼びかけだけに終わって、日頃の実らない活動の経験交流も。加入者に情報を提供したり、自動継続の必要性も話題になりました、加入して当たり前のような広報と、もっと簡単に登録できるしくみ、他団体に学んでもっと体制を強化すべきなど、要望もいっぱい出ました。

脇村 小津江



九州ブロック活動報告 九州支部医学検査学会(第52回)

平成29年10月21・22日(日)に長崎県において日臨技九州支部学会が開催されました。この学会時に連盟ブースを設置し入会の促進を行うと同時に学会第1日目の10月21日(土)昼食時(12:00~13:00)を利用し、九州ブロック会議を行った。九州ブロック会議には九州8県から各県支部長及び各県会長(支部長兼務を含む)、オブザーバーとして宮島会長、横地副会長にも参加していただき総勢14名での意見交換を行った。



まず宮島会長よりご挨拶をお願いしたが、会議時間の1/3を使って現状の連盟とこれからの連盟のあり方について熱く語って頂いた。その後、各県より現状報告と問題点・要望について報告を行った。連盟加入については目標達成及び達成まじかな県が2/3、もう少し頑張りたい県が1/3であり、加入促進方法については各県とも



同じような方法で実施されていた。要望として加入後の会員への加入証明やアプローチが全く無いので、連盟として加入者に対する加入メリットを形で行うことが必要ではないか。そのようなことを含めて、今後値上げについても検討していく必要があり半数以上であった。

連盟ブースについては第1日目を9:00~17:00、第2日目を9:00~15:00まで、それぞれ2時間ごとに区切って各県の支部長及び担当で連盟加入をお願いした。各県とも支部長や会長が一生懸命声掛けをしたり、中には遠くに知り合いを見つけたらそこまで行ってお願いしたりと2時間を有効に使って頑張ったお陰で125口という予想以上の成果があった。しかしながら、感じたことは大半が連盟で何?という反応でした。今後もっと会員に対して、「連盟とは」「なぜ連盟が必要か」などをじっくりと時間を掛けて理解していただくことを各県連盟役員及び技師会役員が一つになってさらに行っていくかなければならないことを痛感した。九州ブロック長 瀧口 巖

国民医療推進協議会へ参加

日本医師会など40団体で構成する国民医療推進協議会(会長・横倉義武日医会長)が11月22日に東京・永田町で開いた「国民医療を守るための総決起大会」会場は医療関係者や与党の厚労族議員ら計約800人で埋め尽くされた。「診療報酬で厚い手当が必要だ。安倍晋三首相は来年の春闘で3%の賃上げを経済界に要請している。医療に携わる300万人以上の賃上げを示すべきであり、閉院して困るのは地域住民である。地域医療の崩壊は地域の崩壊につながる」と横倉会長は強調し下記決議を満場一致で採決した。日技連執行部からも8名が参加し賛同した。

決議(案)

世界に類を見ない少子高齢社会において、国民が生涯にわたり健やかでいきいきと活躍し続ける社会を実現していくためには、持続可能な社会保障制度の確立が不可欠である。

よって、本大会参加者全員の総意として、次のとおり要望する。

- 一、国民が将来にわたり必要な医療・介護を安心して充分に受けられるための適切な財源の確保
- 一、国民と医療機関等に不合理な負担を強いている医療等に係る消費税問題の抜本的な解決

以上、決議する。

平成29年11月22日

国民医療を守るための総決起大会

**会費を自動引き落としとして
継続登録されている皆様へ**

連盟加入数はまだまだ目標8000名に足りていません。既に加入者の皆様でもお知り合いの方をお誘いいただけると幸いです。是非ご協力ください

**連盟会費を口座引落しの
登録をいただいている会員の方**

- ・平成30年会費は、ご登録の口座から **平成30年2月27日(火)**にご登録の口数の連盟会費が各技師会費と合算した額が引き落とされます。
- ・前日迄に登録口座の残高をご確認いただきご準備くださいますようお願いいたします。

**引落口数の変更を希望される方
および退会をされる方**

- ・引落口数の変更をご希望の場合には、**平成30年1月10日までに以下eメールにてご連絡ください。10日を過ぎての申し出された場合は、変更前の口数の金額が引落されますのでご注意ください。また、原則会費の返金はいたしませんので、ご注意ください。**
- ・退会をご希望の方につきましても同様に**退会の意思をeメールにてご連絡ください。期日を過ぎてからのご連絡につきましては、登録口数の金額を引落しされ、その後のご返金はいたしませんのでご注意ください。**

メールアドレス：nichigiren@jamt.or.jp

- ・日本臨床衛生検査技師会の退会手続きを1月30日までに完了された方は、連盟会費も同様に引落はされません。引き続き連盟会費を納入希望の方は、最寄りの郵便局で配布されている「払込取り扱い票」を使用して次の振替口座へご入金のお手続きをお願いします。

「払込取り扱い票」を使用して振替口座へ入金される方
振替口座：00130-1-79120
口座名義：日本臨床検査技師連盟

通信欄：日臨技会員番号 氏名

払込人欄：氏名、住所、電話番号を記載してください。

なお、この「払込取り扱い票」は当連盟ホームページでもダウンロードが可能です。

11月30日現在

連盟都道府県名	口数合計
北海道	89
青森県	96
岩手県	6
宮城県	20
秋田県	130
山形県	24
福島県	98
新潟県	18
茨城県	154
栃木県	93
群馬県	149
埼玉県	135
山梨県	63
長野県	60
千葉県	86
東京都	56
神奈川県	65
富山県	4
石川県	113
岐阜県	34
静岡県	394
愛知県	249
三重県	112
福井県	15
滋賀県	21
京都府	22
大阪府	84
兵庫県	31
奈良県	101
和歌山県	158
鳥取県	54
島根県	81
岡山県	127
広島県	70
山口県	144
徳島県	10
香川県	121
愛媛県	20
高知県	4
福岡県	185
佐賀県	33
長崎県	260
熊本県	203
大分県	63
宮崎県	69
鹿児島県	97
沖縄県	95
日臨技	31
合計	4,347



連盟活動は自分の仕事を守るための活動です



陳情を行う活動だけでは
法律改正は難しい

臨床検査技師の身分・地位向上
を目指し法律を改正するためには
努力を惜みず、自分たちの力で
行わなくてはなりません

我々の業務に関する法律を変える
ためには政策決定の場へ臨床検
査技師を送り出すことが重要です

連盟ホームページで
会員新規登録が可能です！



<http://www.jamt-renmei.org/>

技師連盟に 入会しよう

平成29年6月に医療法が一部改正されました。これは国が「安全で適切な医療提供の確保を推進する」ために、衆参両議院本会議で可決し施行されるものです。

私たち臨床検査技師の仕事は、国会で審議され、はじめて法制化されていきます。この国会審議の場に、臨床検査技師が直接意見を言い、要望を伝えるには政治的な活動が必要不可欠です。

私たちの声を反映するには、組織力が必要。**会員数は大きな組織力**です。日臨技の会員全員が連盟会員になれば、6万人以上の声を国会へ届けることができます。

自分の仕事を守るためにも、臨床検査技師の私たちが集い、技師連盟として活動することが大きな力になっていきます。

Message

- 1) 臨床検査技師の身分・地位の向上に不可欠
- 2) 政治的要求には「数の力」が不可欠
- 3) 国政に反映されるには、政治団体の活動が不可欠
- 4) 都道府県単位に連盟支部があります
- 5) 私たちの団結力を信じよう
- 6) 公務員でも加入できます

お問い合わせは nichigiren@jamt.or.jp まで

 **日本臨床検査技師連盟**